

# 板野 光司

イタノ コウジ



今回紹介するのは工学部機械工学科2年生、岡山大学フォーミュラプロジェクト（OUFP）次年度リーダー板野光司さんです。来年度の全日本学生フォーミュラ大会出場に向けて意気込む彼に、工学部1号館のOUFP部室でインタビューしました。

## 「モノづくり、 とても楽しいです」

岡山大学フォーミュラプロジェクト（OUFP）は2004年に工学部機械工学科の有志で旗揚げしたプロジェクトで、自動車技術会主催の全日本学生フォーミュラ大会出場を目的とし、フォーミュラカーの車体の設計、製造、組織運営のすべてを学生主体で進めています。

じつはクルマは好きでも嫌いでもなく、OUFPではモノづくりができるという点に魅かれました。今のメンバーは、クルマ好きと、モノづくりがしたかった人とで半々ですね。

今、ブレーキとドライブトレイン（動力伝達システム）の総称の設計・製造を担当しています。大学で学んだことを活かしながら、モノを作れるのがとても楽しいです。それから、フォー



## 「企業と同じくらいシビア、 でも仲が良いです」

ミュラカー製作では、当然、自分たちでは作れない部分もあります。そういうものはインターネッツなどで購入するのですが、どれを選択するかみんなであこれ検討するのも、面白いですね。

マジメなときはほんとうにマジメです。ミーティングも企業と同じくらいの緊張感を持って臨みます。というのも、メンバー一人がそれぞれ担当している箇所があって、一箇所の遅れが全体に影響してくるため、スケジュール管理をシビアに行わなければなら

## 「いずれは 日本一になりたい」

ないからです。でも、オンとオフがはっきりしているのも、OUFPの特徴です。大学の外でもよく遊んでいますし、大会出場時、他大学は集合写真しか撮らないことが多いのですが、私たちはメンバーの写真をたくさん撮ったりして楽しんでいます。

るようにしたいと考えています。また、工学部と環境理工学部の学生で構成されていますが、大会では製作した車体をどんな市場でどんな戦略で販売し、利益を出すかをプレゼンする種目があったり、スポンサーを探す涉外活動があったりと、文系的な部分も必要とされます。だから、他学部にもメンバーを広げたいと考えています。こういった組織・システムの改善をロングスパンで進め、私の代では無理かもしれませんが、数年後には一位を取れるチームに育てたいですね。

今年度の大会では、エンジントラブルにより、あえなくリタイア。とても悔しかったのですが、これをバネに、来年度は上位入賞を目指します。高いマシン性能は、チームの総合力によって生み出されると考えているので、組織やシステムの改善による総合力の向上を構想しています。たとえば、各人の作業量を数値化し、無理なスケジュールを立てることのないようにしたり、引継ぎマニユアルを整備し、スキルを先輩に伝えられ

